

ベクトル三重積

渡邊 俊夫

概要

3つのベクトル a, b, c に対して、順に2回外積をとったものをベクトル三重積という。
ベクトル三重積について

$$a \times (b \times c) = (a \cdot c)b - (a \cdot b)c \quad \dots \textcircled{1}$$

$$(a \times b) \times c = (a \cdot c)b - (b \cdot c)a \quad \dots \textcircled{2}$$

が成り立つ。

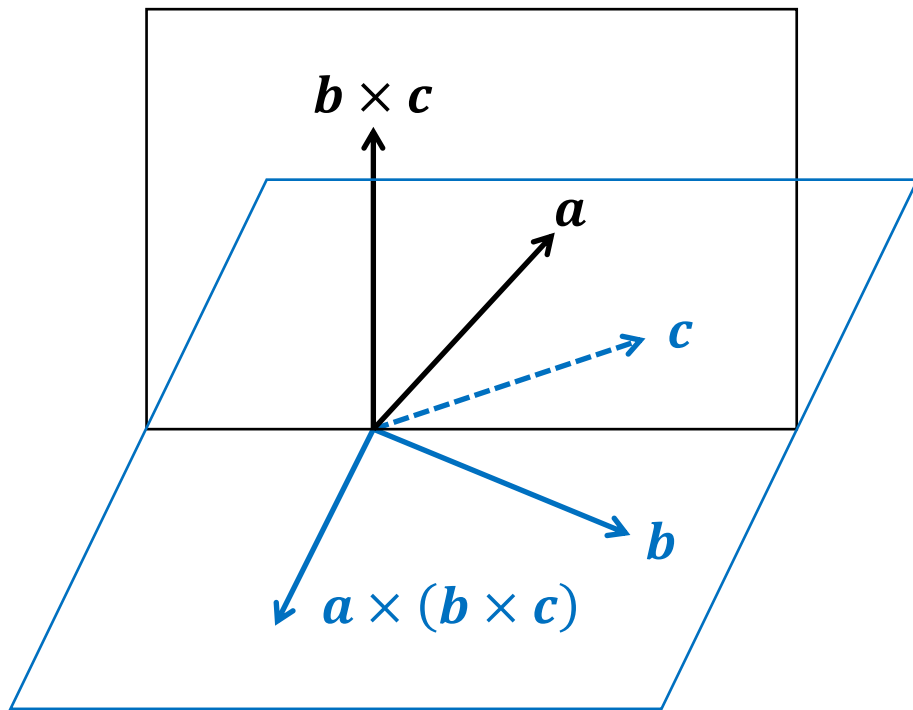
- 左辺のベクトルは、左辺の()内の外積ベクトルに垂直だから、それをなす2つのベクトルが張る平面内にあり、その一次結合で書ける。
- 一次結合の係数は、自分以外の2つのベクトルの内積である。
- 一次結合の係数の符号は、左辺の()内のベクトルのうち、()外の外積に近い方(すなわち、三重積の中央のベクトル)が正、他方が負である。

本稿では、ベクトル三重積の公式を、成分計算を用いずに証明する。

ベクトル三重積 $a \times (b \times c)$ の図解

外積ベクトル $b \times c$ は、 b と c に垂直である。ベクトル三重積 $a \times (b \times c)$ は、 a と $b \times c$ に垂直だから、 b と c が張る平面内のベクトルである。

$$a \times (b \times c) = (a \cdot c)b - (a \cdot b)c$$



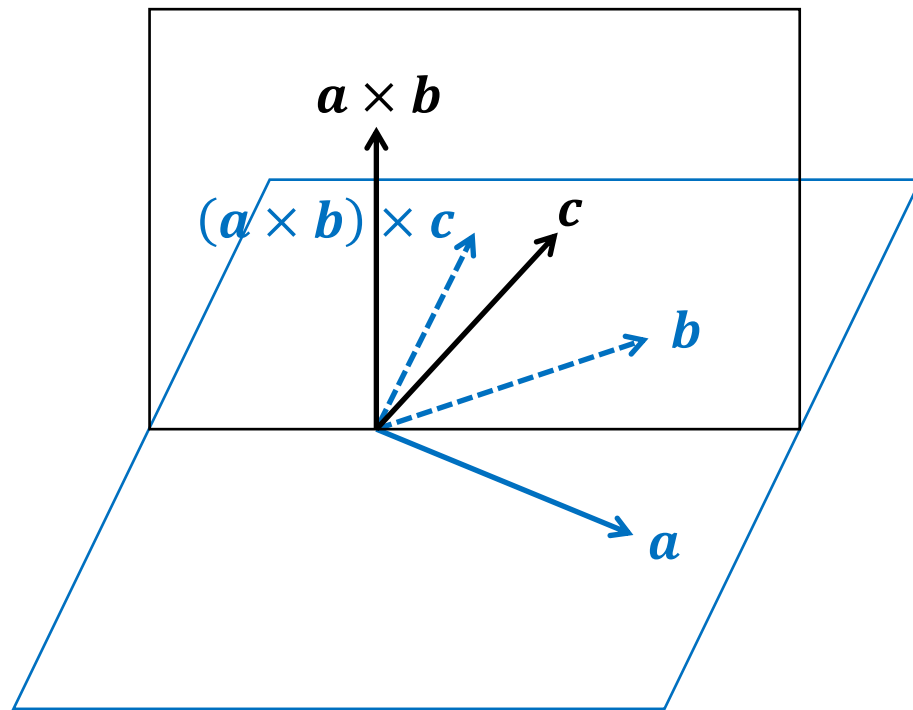
b と c が青線で示した平面内にあり、 a と $b \times c$ がそれに垂直な平面（黒線で示した平面）内にあるとき、 $a \times (b \times c)$ は b と c が張る平面（青線で示した平面）内のベクトルになる。

a が b に垂直ならば、 $a \times (b \times c)$ は b の方向、 a が c に垂直ならば、 $a \times (b \times c)$ は $-c$ の方向のベクトルである。

ベクトル三重積 $(a \times b) \times c$ の図解

外積ベクトル $a \times b$ は、 a と b に垂直である。ベクトル三重積 $(a \times b) \times c$ は、 $a \times b$ と c とに垂直だから、 a と b が張る平面内のベクトルである。

$$(a \times b) \times c = (a \cdot c)b - (b \cdot c)a$$



a と b が青線で示した平面内にあり、 c と $a \times b$ がそれに垂直な平面（黒線で示した平面）内にあるとき、 $(a \times b) \times c$ は a と b が張る平面（青線で示した平面）内のベクトルになる。

c が b に垂直ならば、 $(a \times b) \times c$ は b の方向、 c が a に垂直ならば、 $(a \times b) \times c$ は $-a$ の方向のベクトルである。

公式①と②の関係

ベクトル三重積の公式

$$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})\mathbf{b} - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})\mathbf{c} \quad \dots \textcircled{1}$$

$$(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \times \mathbf{c} = (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})\mathbf{b} - (\mathbf{b} \cdot \mathbf{c})\mathbf{a} \quad \dots \textcircled{2}$$

は、外積の交換規則 $\mathbf{A} \times \mathbf{B} = -\mathbf{B} \times \mathbf{A}$ を用いて、一方から他方を導くことができる。

$$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = -(\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \times \mathbf{a} = -((\mathbf{b} \cdot \mathbf{a})\mathbf{c} - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})\mathbf{b}) = (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})\mathbf{b} - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})\mathbf{c}$$

$$(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \times \mathbf{c} = -\mathbf{c} \times (\mathbf{a} \times \mathbf{b}) = -((\mathbf{c} \cdot \mathbf{b})\mathbf{a} - (\mathbf{c} \cdot \mathbf{a})\mathbf{b}) = (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})\mathbf{b} - (\mathbf{b} \cdot \mathbf{c})\mathbf{a}$$

そこで、以下では公式①を証明する。

公式①の証明

$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ は \mathbf{b} と \mathbf{c} に垂直なベクトル $\mathbf{b} \times \mathbf{c}$ に垂直だから、スカラー λ, μ を用いて

$$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = \lambda \mathbf{b} + \mu \mathbf{c}$$

と書ける。また、 $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ は \mathbf{a} に垂直だから、 \mathbf{a} との内積をとると

$$0 = \mathbf{a} \cdot (\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})) = \mathbf{a} \cdot (\lambda \mathbf{b} + \mu \mathbf{c}) = \lambda \mathbf{a} \cdot \mathbf{b} + \mu \mathbf{a} \cdot \mathbf{c}$$

$$\therefore \frac{\lambda}{\mathbf{a} \cdot \mathbf{c}} = -\frac{\mu}{\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}} = \kappa \text{ (定数)}$$

となる。したがって、 $\lambda = \kappa \mathbf{a} \cdot \mathbf{c}$, $\mu = \kappa \mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ であり、

$$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = \kappa ((\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})\mathbf{b} - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})\mathbf{c})$$

と表せる。

公式①の証明(つづき)

さらに、 \mathbf{a} , $\mathbf{b} \times \mathbf{c}$, $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ のスカラー三重積をとると

$$\begin{aligned} \mathbf{a} \cdot \left((\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \times (\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})) \right) &= (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \cdot \left((\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})) \times \mathbf{a} \right) \\ &= -(\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \cdot \left(\mathbf{a} \times (\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})) \right) \\ &= -(\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \cdot \left(\kappa \left((\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})) \mathbf{a} - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{a})(\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \right) \right) \\ &= -\kappa (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \cdot \left((\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})) \mathbf{a} - |\mathbf{a}|^2 (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \right) \\ &= -\kappa \left((\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})) (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \cdot \mathbf{a} - |\mathbf{a}|^2 (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \right) \\ &= -\kappa \left((\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c}))^2 - |\mathbf{a}|^2 |\mathbf{b} \times \mathbf{c}|^2 \right) \\ &= \kappa \left(|\mathbf{a}|^2 |\mathbf{b} \times \mathbf{c}|^2 - (\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c}))^2 \right) \\ &= \kappa |\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})|^2 \end{aligned}$$

公式①の証明(つづき)

いっぽう、

$$\begin{aligned} a \cdot \left((b \times c) \times (a \times (b \times c)) \right) &= (a \times (b \times c)) \cdot (a \times (b \times c)) \\ &= |a \times (b \times c)|^2 \end{aligned}$$

であるから、 $\kappa = 1$ を得る。以上より、

$$a \times (b \times c) = (a \cdot c)b - (a \cdot b)c$$

が成り立つ。